

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月1日 (2016.12.1)

【公表番号】特表2015-536159(P2015-536159A)

【公表日】平成27年12月21日 (2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-080

【出願番号】特願2015-536918(P2015-536918)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 3 2 B 5/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/00 3 0 1 A

B 3 2 B 27/32 C

B 3 2 B 5/24

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月7日 (2016.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 7】

本発明の範囲及び趣旨から逸脱しない本発明の様々な変更及び改変は、当業者には明らかであろう。本発明の実施態様の一部を以下の項目 [1] - [3 2] に記載する。

[1]

親水性吸収層と、ポリオレフィンバリア層と、前記吸収層を前記バリア層に固着させる結合層と、を含む多層物品であって、前記吸収層が、界面活性剤と組合された脂肪族ポリエステルを含む繊維の不織布ウェブを含む、多層物品。

[2]

前記結合層が、少なくとも 1 つのオレフィンモノマーと少なくとも 1 つの極性モノマーとのコポリマーを含む、項目 1 に記載の多層物品。

[3]

前記コポリマーが、少なくとも 1 つの反応性モノマーを更に含み、前記反応性モノマーが、ヒドロキシル基と共有結合的に反応する反応性基を含む、項目 2 に記載の多層物品。

[4]

前記結合層が、少なくとも 1 つの反応性モノマーを含む反応性ポリマーを更に含み、前記反応性モノマーが、ヒドロキシル基と共有結合的に反応する反応性基を含む、項目 2 又は 3 に記載の多層物品。

[5]

少なくとも 1 つのオレフィンモノマーが、エチレンである、項目 2 ~ 4 のいずれか一項に記載の多層物品。

[6]

少なくとも 1 つの極性モノマーが、酢酸ビニル、C 1 ~ C 8 アクリレート、C 1 ~ C 4 アクリル酸、及びこれらの組み合わせからなる群より選択される、項目 2 ~ 5 のいずれか一項に記載の多層物品。

[7]

前記反応性モノマーの反応性基が、無水物基又はエポキシ基である、項目 2 ~ 6 のい

れか一項に記載の多層物品。

[8]

前記結合層が、粘着付与剤を更に含む、項目 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の多層物品。

[9]

前記結合層が、熱可塑性エラストマーを更に含む、項目 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の多層物品。

[1 0]

前記熱可塑性エラストマーが、アルキルメタクリレート及びアルキルアクリレートブロックを含むブロックコポリマーである、項目 9 に記載の多層物品。

[1 1]

前記熱可塑性エラストマーが、ポリ（メチルメタクリレート）- ポリ（ブチルアクリレート）- ポリ（メチルメタクリレート）コポリマーである、項目 1 0 に記載の多層物品。

[1 2]

前記結合層が、安息香酸アルキル可塑剤を更に含む、項目 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の多層物品。

[1 3]

親水性の第 1 のプライ及び第 2 のプライを含む吸収層と、前記第 2 のプライに固着しているポリオレフィンバリア層と、を含む多層物品であって、前記第 1 のプライが、界面活性剤と組合された脂肪族ポリエステルを含む繊維の第 1 の不織布ウェブを含み、前記第 2 のプライが、前記脂肪族ポリエステルを含む繊維の第 2 の不織布ウェブを含む、多層物品。

[1 4]

前記バリア層が、前記第 2 のプライに直接固着している、項目 1 3 に記載の多層物品。

[1 5]

前記バリア層が、前記第 2 のプライに間接的に固着しており、前記多層物品が、前記バリア層と前記第 2 のプライとの間に位置し、且つ前記バリア層及び前記第 2 のプライに固着している結合層を更に含む、項目 1 4 に記載の多層物品。

[1 6]

前記結合層が、少なくとも 1 つのオレフィンモノマーと少なくとも 1 つの極性モノマーとのコポリマーを含む、項目 1 5 に記載の多層物品。

[1 7]

前記コポリマーが、少なくとも 1 つの反応性モノマーを更に含み、前記反応性モノマーが、ヒドロキシル基と共有結合的に反応する反応性基を含む、項目 1 6 に記載の多層物品。

[1 8]

少なくとも 1 つのオレフィンモノマーが、エチレンである、項目 1 6 又は 1 7 に記載の多層物品。

[1 9]

少なくとも 1 つの極性モノマーが、酢酸ビニル、C 1 ~ C 8 アクリレート、C 1 ~ C 4 アクリル酸、及びこれらの組み合わせからなる群より選択される、項目 1 6 ~ 1 8 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 0]

前記反応性モノマーの反応性基が、無水物基又はエポキシ基である、項目 1 6 ~ 1 9 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 1]

前記結合層が、粘着付与剤を更に含む、項目 1 6 ~ 2 0 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 2]

前記結合層が、熱可塑性エラストマーを更に含む、項目 1 6 ~ 2 1 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 3]

前記熱可塑性エラストマーが、アルキルメタクリレート及びアルキルアクリレートブロックを含むブロックコポリマーである、項目 2 2 に記載の多層物品。

[2 4]

前記熱可塑性エラストマーが、ポリ(メチルメタクリレート) - ポリ(ブチルアクリレート) - ポリ(メチルメタクリレート)コポリマーである、項目 2 3 に記載の多層物品。

[2 5]

前記結合層が、安息香酸アルキル可塑剤を更に含む、項目 1 6 ~ 2 4 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 6]

前記脂肪族ポリエステルが、ポリ(乳酸)を含む、項目 1 ~ 2 5 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 7]

前記界面活性剤が、前記脂肪族ポリエステルとブレンドされている、項目 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 8]

前記繊維が、芯及び鞘を含み、前記芯が前記脂肪族ポリエステルを含み、前記鞘が、前記脂肪族ポリエステル及び前記界面活性剤を含む、項目 1 ~ 2 7 のいずれか一項に記載の多層物品。

[2 9]

前記界面活性剤が、前記脂肪族ポリエステルを含む繊維の表面に塗布される、項目 1 ~ 2 8 のいずれか一項に記載の多層物品。

[3 0]

前記界面活性剤が、アニオン性界面活性剤及び非イオン性ポリエトキシ化界面活性剤のうちの少なくとも 1 つを含む、項目 1 ~ 2 9 のいずれか一項に記載の多層物品。

[3 1]

前記吸収層が、前記脂肪族ポリエステル及び前記界面活性剤とブレンドされている不揮発性担体を更に含む、項目 1 ~ 3 0 のいずれか一項に記載の多層物品。

[3 2]

前記不揮発性担体が、ポリアルキレンオキシド、熱安定性多価アルコール、多価アルコールの低分子量エステル、及びこれらの組み合わせのうちの少なくとも 1 つを含む、項目 3 1 に記載の多層物品。

【 手続補正 2 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

親水性吸収層と、ポリオレフィンバリア層と、前記吸収層を前記バリア層に固着させる結合層と、を含む多層物品であって、前記吸収層が、界面活性剤と組合された脂肪族ポリエステルを含む繊維の不織布ウェブを含む、多層物品。